

# 9 消 防 費

1, 861, 243, 484円

項 目	ペー ジ
消 防 費	
防災対策費……………	535



# 防 災

消防費は、総合長期計画基本構想にある「安全で快適に暮らせるまち」の理念達成のため、諸計画にもとづく防災施策を推進し、災害に強いまちづくりに努めた。

## 1 常備消防の充実

常備消防としては、本年度も東京都に事務委託をし、東京消防庁青梅消防署を中心に多様化する災害への対応を図るとともに、防災および救急体制の充実に努めた。

## 2 青梅市消防団の充実

青梅市消防団においては、改選に伴い、新たに19名の団員を任命した。

また、災害対応をはじめとする各種団活動で運行する消防車両について、緊急時や平常時における車両の運行方法の注意点等を青梅消防署指導のもと、明星大学青梅校敷地内にて車両運行訓練を実施したほか、地域防災力の向上と団員の負担軽減のため、消防ポンプ車2台と小型動力ポンプ積載車8台を更新した。

## 3 市民の防災意識向上

防災関係機関相互の連携の強化、防災計画の運用習熟を図るとともに、市民の防災意識の高揚等、災害対応能力の強化を図った。

また、6月26日には、東青梅地区において土砂災害対応訓練を、10月22日に長淵地区において総合防災訓練を実施した。

## 4 国土強靱化地域計画の改訂

第7次青梅市総合長期計画と整合を図るため、「青梅市国土強靱化地域計画」を改訂した。

消 防 費      1, 8 6 1, 2 4 3, 4 8 4 円

○ 防 災 対 策 費      ( 1, 8 6 1, 2 4 3, 4 8 4 円)      [防災課]

### 1 常備消防経費

(1) 事務委託費      1,343,172千円

### (2) 青梅消防署の現況

#### ア 消防吏員数

(単位：人)

署・出張所	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務	合計
本 署	1	3	12	29	36	25	8	2	116
日 向 和 田	0	0	1	7	15	13	1	0	37
長 淵	0	0	1	6	10	7	2	0	26
合 計	1	3	14	42	61	45	11	2	179

(歳出 9 消 防 費)

イ 車両保有数

区分	本署	日向和田出張所	長淵出張所	合計
消防ポンプ車	3	2	2	7
はしご車	1	—	—	1
化学車	1	—	—	1
救助車	1	—	—	1
救急車	2	1	1	4
広報車	3	—	—	3
指揮車	1	—	—	1
指揮隊車	1	—	—	1
人員輸送車	1	—	—	1
山岳救助車	1	—	—	1
資材輸送車	1	—	—	1
消防活動二輪車	—	3	—	3
合計	16	6	3	25

※ 本署救急車1台、本署消防ポンプ車1台、長淵出張所消防ポンプ車1台、日向和田出張所消防活動二輪車1台は非常用車両。

ウ 消防ポンプ車等の出動状況 (単位：延台数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
592	536	543	582	753	574	595	622	603	654	582	585	7,221

エ 救急車の出動状況 (単位：回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
539	558	555	741	755	544	612	667	797	735	523	586	7,612

2 消防団運営経費

(1) 消防団火災等出動状況 (単位：件、人、回)

火災出動						その他出動	
火件数	災回数	出動回数	延出動団員数	1回平均団員数	団員1人平均回数	出動回数	延出動団員数
52		37	1,213	33	2.5	90	2,905

(2) 消防団員退職状況 (単位：人)

勤務年数	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25年以上	合計
退職人員	7	3	0	2	0	0	12

(3) 消防団出初式

1月8日(日)、永山公園グラウンドにおいて、消防団恒例の出初式を挙行し、成績優秀な分団、部および団員ならびに消防団活動に協力のあった団体について表彰した。

また、青梅市青少年吹奏楽団の協力により、記念演奏を行った。

ア 市長表彰

無火災竿頭綬 第5分団・第7分団

イ 団長表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 者				
永 年 勤 続 功 労 章	団 本 部	副団長	小林 正寿	以下	35人
表 彰 状 お よ び 表 彰 き 章	第7分団第3部	部 長	野村 直幸	以下	3人
精 績 章	第8分団第3部	部 長	野島 人士	以下	5人
精 勤 章	第2分団第3部	団 員	田中 楓	以下	29人

ウ 一般表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 団 体		
消防団の支援および発展に寄与した功績	団 体	青 梅 市 自 治 会 連 合 会 第 5 支 会	
消防団の支援および発展に寄与した功績	団 体	青 梅 市 自 治 会 連 合 会 第 7 支 会	

(4) 消防団上部団体等からの表彰

ア 東京都消防褒賞  
 第 6 分 団 分 団 長 根 岸 克 武  
 第 2 分 団 副 分 団 長 川 口 健 太 郎  
 第 6 分 団 副 分 団 長 加 藤 弘 紀

イ 消防総監表彰 団 長 川 鍋 重 美

ウ 東京消防庁防災部長表彰 団本部・第1分団・第2分団

エ 日本消防協会定例表彰  
 精 績 章 第 1 分 団 副 分 団 長 本 橋 伸 悟

オ 東京都消防協会定例表彰  
 功 労 表 彰 第 7 分 団 副 分 団 長 中 島 大 輔  
 以下 3 人  
 優 良 表 彰 第 5 分 団 第 4 部 部 長 須 崎 茂 樹  
 以下 9 人

カ 東京都三多摩消防団連絡協議会表彰  
 優 良 表 彰 第 2 分 団  
 功 績 表 彰 第 1 分 団 ・ 第 2 分 団

(歳出 9 消 防 費)

## (5) 消防団運営費交付金支給状況

支給総額

17,269千円

(単位：人、千円)

区	分	本部	第1部	第2部	第3部	第4部	第5部	第6部	合計
団本部	算定人員	480	—	—	—	—	—	—	—
	金額	782	—	—	—	—	—	—	782
第1分団	算定人員	72	18	16	15	5	16	—	—
	金額	577	439	406	389	225	406	—	2,442
第2分団	算定人員	82	7	15	17	13	15	13	—
	金額	566	218	350	370	330	376	304	2,514
第3分団	算定人員	39	8	8	11	10	—	—	—
	金額	476	248	274	324	307	—	—	1,629
第4分団	算定人員	55	9	8	6	10	7	13	—
	金額	516	238	274	241	307	244	356	2,176
第5分団	算定人員	73	13	17	15	26	—	—	—
	金額	580	357	422	389	591	—	—	2,339
第6分団	算定人員	48	12	13	12	9	—	—	—
	金額	505	340	363	340	291	—	—	1,839
第7分団	算定人員	42	12	11	9	8	—	—	—
	金額	490	340	343	291	274	—	—	1,738
第8分団	算定人員	55	12	15	14	12	—	—	—
	金額	507	300	330	360	313	—	—	1,810

## (6) 市内火災発生状況

ア 地区別火災発生状況

(単位：件、㎡、円、人)

分 団	建 物			林 野			そ の 他			合 計			死 者	傷 者
	件 数	焼失 面積	損害額	件 数	焼失 面積	損害額	件 数	焼失 面積	損害額	件 数	焼失 面積	損害額		
1	5	348	6,685,400	0	0	0	1	0	39,600	6	348	6,725,000	0	0
2	9	106	10,174,200	0	0	0	3	0	400	12	106	10,174,600	1	6
3	5	0	12,349,500	0	0	0	9	0	95,000	14	0	12,444,500	0	2
4	4	68	3,797,400	0	0	0	5	0	1,300	9	68	3,798,700	0	4
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	3	15	820,400	3	15	820,400	0	0
7	1	248	7,717,800	0	0	0	0	0	0	1	248	7,717,800	1	0
8	6	15	3,773,900	0	0	0	1	0	0	7	15	3,773,900	1	3
合計	30	785	44,498,200	0	0	0	22	15	956,700	52	800	45,454,900	3	15

## イ 月別火災発生状況

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	3	4	3	1	4	2	4	0	11	5	8	52

## ウ 原因別火災発生状況

(単位：件)

放 火	煙 草	火遊び	ガステーブル	電気配線	暖房器具	たき火	花 火	その他	合 計
12	5	0	4	11	1	0	0	19	52

## ※ 火災原因その他内訳

焼却火 1 件、投込湯沸器 1 件、電池 3 件、繊維製品 2 件、ゴミ 1 件、炭火 1 件、電気調理器具 3 件、灯明 1 件、取灰 1 件、プーリー(車両) 1 件、不明 4 件

## (7) 消防団の活動

## ア 消防団主要行事

月	日	行 事 内 容	実 施 場 所 等
4月	3日	任命式	霞共益会館ホール
	8日	西多摩地区消防団連絡協議会総会	あきる野ルピア
	20日	東京都三多摩消防団連絡協議会総会	パレスホテル立川
	24日	幹部規律訓練	青梅市役所
	25日	幹部震災図上訓練	青梅市役所
	26日	東京都消防協会総会	スクワール麴町
5月	7日	専科教育(警防科)	東京都消防訓練所
	21日	専科教育(機関科)	東京都消防訓練所
	22日	車両運行訓練	明星大学駐車場
	25日	幹部水災図上訓練	青梅市役所
6月	4日	専科教育(救急科)	東京都消防訓練所
	11日	幹部教育研修(初級)	東京都消防訓練所
	26日	土砂災害対応訓練	青梅市役所・第四小学校
8月	6日	青梅市納涼花火大会警戒	明星大学
9月	11日	救命ボート取扱い訓練	東原公園水泳場
9月	24日	上級救命講習	青梅消防署
10月	22日	青梅市総合防災訓練	市役所、長淵C等
11月	6日	青梅産業観光まつり(消防PRコーナー設置)	青梅市役所
	9~15日	秋の火災予防運動	市内全域
	12日	専科教育(救助科)	東京都消防訓練所
	13日	非常招集訓練・機関運用訓練	明星大学
	26日	震災総合消防訓練	明星大学
12月	3~4日	幹部教育研修(指揮幹部)	東京都消防訓練所
	25~31日	歳末警戒	市内全域
	30日	歳末警戒分遣所巡視	市内各所
1月	1日	初詣特別警戒	市内各所
	6日	東京消防出初式	東京ビッグサイト
	8日	消防団出初式	永山公園グラウンド

(歳出 9 消 防 費)

月	日	行 事 内 容	実 施 場 所 等
1月	12日	だるま市警戒	市内各所
	15日	防災講演会	青梅市役所
2月	5日	幹部教育研修（上級）	東京都消防訓練所
	5日	東京都消防協会臨時総会	〃
	5日	消防団員意見発表会	〃
	9日	東京都三多摩消防団連絡協議会団長研修会	立川パレスホテル
	19日	青梅マラソン大会特別警戒	市内各所
3月	1～7日	春の火災予防運動	市内全域
	5日	山林パトロール	市内全域
	26日	基本操法訓練	明星大学

イ 備品の購入・配布状況

(ア) 消防ホース

(単位：本)

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合 計
10	12	8	12	10	9	9	8	78

(イ) 防火服

(単位：着)

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合 計
5	6	4	6	5	5	5	4	40

3 災害対策経費

(1) 防災講演会

「防災とボランティア週間」に合わせて、1月15日に青梅市役所において、防災講演会を開催した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として参加者を制限し、青梅市公式動画チャンネル（YouTube）で講演内容を公開した。

また、「防災とボランティア週間」期間中の1月15日から1月21日の間、市役所にて日常備蓄等に関するパネル展示を実施した。

ア 演 題 東日本大震災がおしえてくれたもの

講 師 災害伝承語り部 菅野 澄枝 氏（仙台市地域防災リーダー）

イ 参加者 85人



## (2) 震災および風水害等の対策

## ア 災害対策用食料等の購入

(単位：箱)

施設名称	品 目				
	白 米 (50食入り)	五目ごはん (50食入り)	ビスケット (20食入り)	アレルギー対応 ビスケット (48食入り)	液体ミルク (24本入り)
第二小学校			122	1	
沢井市民センター	50	15	102	1	
第六小学校			33	1	
成木市民センター	40	15	107	1	
成木小学校			23	1	
第七中学校			23	1	
青梅市役所	12	6			25
合計	102	36	410	6	25

## イ 外部給電器の購入

災害時に避難所等において停電が発生した場合の対策として、庁用電気自動車や協定締結先からの貸与車両により給電するための外部給電器を12台購入した。

## ウ 災害時等における応援協定等の締結について

名称	締結日	締結先
自治体スクラム支援会議における災害時相互援助協定	5. 20	杉並区・名寄市・北塩原村・南相馬市・小千谷市・東吾妻町・南伊豆町・忍野村
災害時における給電車両貸与に関する協定	5. 30	トヨタモビリティ東京株式会社
災害時の避難所等における外部給電可能な車両からの電力供給の協力に関する協定	2. 1	S & D多摩ホールディングス株式会社 トヨタ S & D 西東京株式会社
災害時における電動車両等の支援に関する協定	2. 6	東日本三菱自動車販売株式会社 三菱自動車工業株式会社
災害時における被災者支援に関する協定	2. 27	東京都行政書士会多摩西部支部

(歳出 9 消 防 費)

エ 青梅市における気象

(7) 降水量

(単位：mm)

観測場所	降水量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市役所	月合計	165.5	126	181.5	178	155	327.5	105	55	31	5	24	75.5	1,429
	日最大	42.5	57.5	71.5	56	79	115.5	40.5	40	17	2.5	20.5	24	—
	時間最大	11	17	10	32	21.5	32	7.5	4.5	3	2	3	3	—
梅郷市民センター	月合計	161.5	131	189	198	191.5	269.5	100	51.5	28	5	20	66.5	1,411.5
	日最大	42	63	65.5	78.5	93.5	69.5	35	36.5	17.5	2.5	17	21.5	—
	時間最大	10	23	16.5	23.5	30.5	22.5	6	4	2.5	2	2	4.5	—
御岳山防災センター	月合計	163	113.5	245.5	241.5	175.5	293.5	108.5	60	33.5	6.5	19	85.5	1,545.5
	日最大	44	48	67.5	54.5	68	66	41.5	36.5	22	5	17	21.5	—
	時間最大	9.5	13	22.5	48.5	21	17.5	7.5	4.5	4	1.5	3	6	—
小曾木市民センター	月合計	164	142.5	198	192	131.5	301.5	95	52.5	27	3.5	22.5	74	1,404
	日最大	44.5	61	64.5	63.5	73	96.5	34.5	40.5	15.5	2.5	19.5	21.5	—
	時間最大	11.5	19.5	21	46.5	25	27.5	6.5	5	3	1	3	3	—
第7分団 第3部2班 詰所	月合計	160	132	262	280.5	180	289	97.5	57	29	5	18	95	1,605
	日最大	41.5	57.5	68	86.5	87.5	75	38	37	20	3.5	15	25	—
	時間最大	8.5	16.5	32.5	42	39.5	26	6	4	3.5	2	2	6.5	—
今井市民センター	月合計	150.5	101.5	134.5	139	123	292	96.5	48	28	3.5	22	73	1,211.5
	日最大	39	41	56.5	52.5	68	102	33.5	37	15	2	19	21.5	—
	時間最大	11	14	10	40.5	25.5	34	6.5	4	3	1	3	3.5	—
沢井市民センター	月合計	179.5	142.5	230	218	159.5	272.5	121.5	69.5	36	8.5	25	102	1,564.5
	日最大	43	63	64.5	48	81.5	72	43	43.5	21	5	14.5	27	—
	時間最大	9.5	18	14	28.5	25	24	7	4.5	3.5	1.5	2.5	6	—
アメダス青梅(新町)	月合計	177.5	121.5	162.5	121	144	294.5	107	59.5	36	7.5	27.5	85.5	1,344
	日最大	45	49	66	40	71	100	41	41.5	17	4.5	21	25	—
	時間最大	11	19.5	10.5	32.5	23.5	32	8.5	4	3	1.5	2.5	3.5	—

## (イ) 気温・風向・風速

(単位：℃、m/s)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
アメ ダ ス 情 報	気 温 平 均	日平均	14.3	17.7	22.1	26.6	26.6	23.3	15.5	12.7	5.5	3.7	5.5	11.4
		日最高	20	23.3	27.5	31.7	31.7	28.1	20.4	18.3	11.8	9.7	11.6	17.2
		日最低	9.1	12.7	17.8	23	22.6	19.7	11.5	8	0.3	-1.7	-0.2	6.1
	最 高 最 低	最 高	28.4	31	38.3	38.1	38.9	32.7	30.4	23.5	17.8	13.9	18.9	23.1
		最 低	-1	6.3	13.2	20.6	18.3	15.3	4.6	4.2	-4.3	-7.4	-4.9	-1.3
	風 向 ・ 風 速	平均 風速	1.3	1.1	1.1	1.1	1.1	0.9	0.7	0.8	1.1	1.2	1.5)	1.3
		最 大	風速	4.9	4.8	5.1	4.3	5.3	6.6	3.9	4.8	4.6	5	5.4)
	最 大 瞬 間		風速	10.2	10.2	11.9	9.4	11.9	16.4	6.9	10.4	10.7	14	10.5)
		風向	東南東	南	南南東	南	南南東	南南東	東南東	南	西	西北西	北 西	南

値)：準正常値…品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合  
情報は気象庁が観測するアメダス情報による。

アメダス設置場所 都農林総合研究センター青梅庁舎 (新町6-7-1)

(3) 青梅市防災会議

青梅市防災会議委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎浜中啓一	市長		土田大介	指定公共機関、指定地方公共機関および公共的団体の役員または職員	
松本信也	指定地方行政機関職員		百瀬澄雄		
盛谷信義	自衛隊員		小嶋延章		
小松正明	都職員	4.1就任	宮口泉		
渡部裕之		4.1就任	岩浪岳史		
内藤賢一		4.1就任	久保稔		
副島多光生	警察官	2.19退任	明石吉永		
福田託也		2.20就任	舘盛和		
下村秀毅	消防吏員		金子典由		
川鍋重美	消防団長		原田裕美子		
小山高義	副市長		小林弘政		
橋本雅幸	教育長		野島壮一		11.30退任
高橋昌弥	指定公共機関、指定地方公共機関および公共的団体の役員または職員		氏江正二		12.1就任
飯島秀樹			小花紀彦		自主防災組織代表者
高山英一		6.30退任	加藤めぐみ		学識経験者
上田達		7.1就任	原義人		病院事業管理者
富川泰介			大友建一郎	1.1就任	
野崎啓太郎			小平久美子	市職員	
山川英男		4.1就任	中村幸子		
中村洋介			青木政則		4.1就任

◎は会長

(4) 総合防災訓練

10月22日午前9時から第二中学校等において、防災関係機関相互の連携強化および市民の防災意識の高揚と災害対応能力の強化を図るため、総合防災訓練を実施した。

(5) 自主防災組織等運営費交付金

ア 運営費交付金

自主防災組織の運営費として、11組織に対し各148,000円を交付した。

イ 防災士育成事業交付金

自主防災組織の強化および防災リーダーの育成を図るため、防災士の資格取得にかかる経費として、4組織に対し総額311,000円を交付した。

また、令和5年3月5日に地域の防災リーダーを育成することを目的とした防災リーダー講習会を実施した。

本年度は、女性や要配慮者の視点で、避難所運営や被災時の困難性について外部講師を招いて実施し、防災リーダーの育成を図った。

(7) 講習内容 避難所運営ゲーム (HUG)

講師 青木 千恵 氏 (NPO法人男女共同参画おおた副理事長)

日向野 みどり 氏 (NPO法人男女共同参画おおた理事)

(イ) 対象者 防災士や自主防災組織等

参加者 52人

(6) 市内危険箇所調査

7月14日に関係官庁および消防団による市内危険箇所の打ち合わせ会を開催し、各危険箇所に関する対応を協議した。

なお、市内危険箇所は、次のとおりである。

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
1	勝沼2-205-60 ほか	石積倒壊	石積の倒壊の危険性がある。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
2	根ヶ布1-652-9	擁壁倒壊 土砂流出	擁壁の整備および土砂流出の予 防措置が不適格と思われる。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
3	根ヶ布2-1372-63	斜面崩壊	急傾斜地であるため、家屋へ危 険を及ぼす恐れがある。	一部土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
4	梅郷6-1535-4 付近	斜面崩壊	多摩川右岸の傾斜面が雑排水等 により一部崩壊しており、さら に崩壊する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域
5	友田町1丁目地内	建物浸水	家屋が浸水する危険がある。	多摩川に係る浸水想定区域 洪水予報個別対応地区
6	今寺1-808-13 付近	建物浸水	大門川の溢水により床下浸水お よび道路・宅地が冠水した。	過去に被害が発生した箇所
7	今井3-4-24付近 ほか	建物浸水	大雨の際に道路冠水、床上・床 下浸水および工場浸水があっ た。	過去に被害が発生した箇所
8	柚木町1-194先	建物浸水	大雨により多摩川が増水した 際、民間保養施設への被害が想 定される。	地形等から危険が想定さ れる箇所
9	河辺町1-800付近	斜面崩壊	南斜面にオーバーハングが見ら れ崩壊の危険がある。崩落発生 の場合は、建物3棟に影響の恐れ がある。	土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域 地形等から危険が想定さ れる箇所
10	畑中2-149-2付近	斜面崩壊	住家から4~5m離れたところが 垂直な崖となっており、大雨・ 地震等による崩落があると、人 的被害が考えられる。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定さ れる箇所
11	長淵1-21-12付近	斜面崩壊	多摩川右岸の住宅下、傾斜面3箇 所が一部崩落しており、さらに 崩落する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定さ れる箇所
12	吹上132-1先	擁壁の倒壊 家屋の傾き	擁壁の倒壊の危険性および家屋 の傾きがある。	宅地造成等規制法にもとづく 規制区域 地形等から危険が想定さ れる箇所

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
13	二俣尾4-1194付近	斜面崩壊	住宅南側斜面が崩落しており、年々崩落が進んでいる。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
14	千ヶ瀬町1丁目地内	崖線崩落	多摩川崖線が小規模崩落している。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
15	根ヶ布1-652-17周辺	土砂崩れ	法面の保護がなされていないため、家屋へ危険を及ぼす恐れがある。	一部土砂災害特別警戒区域 過去に被害が発生した箇所
16	友田町2-639-7付近	土砂崩れ	法面の保護がなされていないため、家屋へ危険を及ぼす恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 過去に被害が発生した箇所
17	日向和田3-495-10	地すべり	亀裂の拡大により、さらに崩落する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 過去に被害が発生した箇所
18	成木1丁目末成橋付近	建物浸水 道路冠水	成木川の溢水により床下浸水および道路・宅地が冠水した。	過去に被害が発生した箇所

(7) 土砂災害対応訓練

6月26日午前10時から市庁舎、東青梅市民センターおよび第四小学校において、関係機関相互の協力体制の緊密化および防災計画の習熟化を図り、市民の防災意識を高めることを目的として実施した。

(8) 青梅市災害時避難所等利用者補償制度

災害時に自治会館等集会施設を避難所等として開設するにあたり、設置者等の管理監督、指導誘導等の不備により、他人の生命、身体および財物に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負う場合ならびに施設利用者が死亡し、もしくは傷害を負った場合または特定疾病を発症した場合に補償する、災害時避難所等利用者補償制度を開始した。

保険適用件数 0件

(9) 家具転倒防止器具等支給取付事業

家具転倒防止器具等を支給し、取付けを行うことにより、震災時における人的被害の軽減を図ることを目的として実施した。

支給・取付世帯数

該当要件	立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域内の世帯のみに該当	高齢者世帯のみに該当	障害者世帯のみに該当	複数の要件に該当	合計
世帯数	7	2	0	32	41

※ 立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域

駒木町2・3丁目、長淵1～5・8・9丁目、友田町、千ヶ瀬町1～3丁目、吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木野下、今寺、畑中3丁目、和田町、富岡、小曾木1・2・4・5丁目、成木1・2丁目、東青梅、師岡町、新町、末広町、河辺町、藤橋、今井内の世帯（丁目表示のないものは、その町名区域内全域が対象）

(10)ブロック塀等撤去費補助金交付

道路に面したブロック塀等の撤去を行った20件に対し、総額1,644,000円を交付した。

(11)青梅市国民保護協議会

青梅市国民保護協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎浜中啓一	市長		山川英男	指定公共機関、指定地方公共機関の役員または職員	4.1就任
盛谷信義	自衛隊員		中村洋介		
高橋宏彰	都職員		野崎啓太郎		
渡部裕之		4.1就任	土田大介	知識経験者	
内藤賢一	4.1就任	百瀬澄雄			
副島多光生	警察官	2.19退任	小嶋延章		
福田託也		2.20就任	宮口泉		
下村秀毅	消防吏員		岩浪岳史		
川鍋重美	消防団長		久保稔		
小山高義	副市長		明石吉永		
橋本雅幸	教育長		舘盛和		
高橋昌弥	指定公共機関、指定地方公共機関の役員または職員		金子典由		
飯島秀樹			原田裕美子		
高山英一		6.30退任	原義人		12.31退任
上田達		7.1就任	大友建一郎		1.1就任
富川泰介			青木政則		市職員

◎は会長

(12)統合型GIS構築等への対応

情報化および情報活用の推進のため、「青梅市統合型GIS構築等業務委託」にて統合型GISの構築を行った。(単位：千円)

区分	金額	説明
プログラム開発等委託料	1,784	防災に関する情報(土砂災害警戒区域等)

※ 「青梅市統合型GIS構築等業務委託」に関する内容は、土木費(都市計画費)内に記載

4 消防施設維持管理経費

消火栓の設置

(単位：基)

	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合計
新設数	1	0	0	1	0	0	0	0	2
撤去数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
増減	1	0	0	1	0	0	0	0	2

5 防災行政無線維持管理経費

(1) 固定系

市内126箇所に設置している固定系受信所の機械・設備等の点検を目的として、1日1回（4月～9月は午後5時、10月～3月は午後4時）のチャイム放送を実施した。また、小学生の下校時に合わせ、小学生の見守り放送を行うとともに、臨時放送（火災の発生・鎮火など）を実施した。

(2) 移動系

災害時や防災訓練における情報の伝達・収集に活用した。

6 避難行動要支援者支援対策経費

避難行動要支援者名簿の平常時からの名簿提供の意思確認と名簿の更新を行った。

区 分		登 録 者 数
避 難 行 動 要 支 援 者 名 簿	災害時	12,537人
	平常時	8,887人

7 消防施設整備経費

(1) 備品の購入・配布状況

品 名	区 分	配 布 先	数 量
背 負 い 式 散 水 装 置	更 新	第3分団第4部、以下3部	3台

(2) 防火水槽撤去設計委託

種別	工 事 内 容	契 約 金 額	受 注 者	施 工 場 所	契 約 工 期
市単	防火水槽撤去設計委託	2,255千円	(株)エーアイ設計工房	長淵4丁目地内	5.13～9.30

(3) 防火水槽撤去等工事

種別	工 事 内 容	契 約 金 額	受 注 者	施 工 場 所	契 約 工 期
市単	防火水槽（丸形40m <sup>3</sup> 級）上部補修	946千円	(株)キノシタ	大柳町地内	7.1～9.30
市単	防火水槽（角型40m <sup>3</sup> 級）撤去	17,618千円	(有)宮崎土木	長淵4丁目地内	11.22～3.24
市単	防火水槽（丸形40m <sup>3</sup> 級）撤去	1,288千円	東京機工土木(株)	駒木町1丁目地内	11.30～2.10

8 避難所施設整備経費

災害時に被災者等の通信を確保するための特設公衆電話の設置工事を、市内6箇所の小学校および5箇所の避難所となる市施設の合計11箇所で実施した。



9 急傾斜地崩壊防止事業経費

急傾斜地崩壊防止工事に当たり、東京都に対し、2地区の負担金を支払った。

(単位：千円)

名 称	金 額	市 負 担 率
河辺町1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	8,806	10%
長淵1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	3,009	

10 消防自動車購入経費

地域防災力の向上と団員の負担減少のため、消防ポンプ車2台と小型動力ポンプ積載車8台を更新した。

種類	配備先
消防ポンプ車	第1分団第1部、第6分団第3部
小型動力ポンプ積載車	第1分団第2部、第2分団第2部、第3分団第3部、 第4分団第5部、第5分団第1部、第6分団第4部、 第7分団第3部、第8分団第2部